

ひとり親家庭移住定住お試しツアー 考察

小県郡 青木村

1. 青木村の概要

- ・人口 4,345 人
- ・戸数 1,750 戸
- ・I ターン 約 110 戸（内ひとり親 2 戸） 定年後の移住が多い。
- ・関東圏が中心（例外 広島、京都）
- ・村民は移住者を温かく迎えている。
 - I ターン 8 年目で、民生児童委員会会長
 - I ターン 11 年目でソフトボール連盟会長
- ・消滅候補都市ではない。
- ・人口 自然増減はマイナス 社会動態はプラス（7～8 人／年）
- ・村営住宅 98 戸 他に教職員住宅 5 戸 常に 1～2 戸は空いている。
- ・村の地方創生総合戦略の旗印ー小学 1 年から中学 3 年まで各学年 2 学級に。
（現在、半分の学年は 1 学級）

2. ツアー参加申込書（事前）に記入された参加者の思い

- ・義務教育の充実。
- ・ひとり親での子育て特有の苦勞を援助してほしい。
- ・子供が田舎好き。
- ・子供を自然の中でゆったり過ごさせたい。
- ・子供のいじめから逃げたい。
- ・娘の中学校卒業に合わせ移住希望。
- ・子育て環境が良い。
- ・放課後学童クラブに入れない。

3. ツアー参加者のアンケート結果

◎ ツアーを知ったきっかけ

- ・ 母子会からのチラシ・メルマガが最も多い。(5/9件)

◎ ツアー参加にあたり一番興味を持ったこと

- ・ 小学校の教育環境が良かった。

◎ ツアーに参加して良かったこと

- ・ 小学校、児童館を見学できたこと。

◎ ツアーに参加して不満だったこと

- ・ 限られた時間の中での見学で、もっと村内をゆっくり見たかった。
- ・ 村営住宅と保育園を見学したかった。
- ・ メディアが多くて少し疲れた。メディア抜きでゆっくり参加したい。

◎ 事前に欲しかった情報

- ・ 車社会なので車にかかる費用の額。
- ・ 車以外の交通手段について。(バスの時刻表など)
- ・ 村のイベントについて、準備等住民の参加状況。

◎ これから欲しい情報

- ・ 住宅について。
- ・ 学校、保育園の様子。
- ・ 病院について。
- ・ 仕事 (平日昼のみ) について。(夜間ひとりで置いていきたくない)
- ・ 受験など高校について。
- ・ 習い事について。

◎ ツアーに参加して青木村(長野県)への移住についてどう考えているか

- ・ 小学校、児童館がとても良かった。
- ・ 子どもが良ければ早い時期に移住したい。
- ・ 移住したいが、引っ越し費用等資金面が問題。
- ・ デメリット部分が見えず、検討材料が少なかった。
- ・ 本格的に移住したい。

- ・ 季節を変えて何度か訪れ、具体的な準備をしていきたい。
- ・ 子どもの中学卒業、高校進学を機に考えたい。
- ・ 知らない土地へ引っ越して生活することが心配、今の生活に余裕がなければ難しい。

◎その他ツアーに参加した感想、今後必要となる支援内容

- ・ 子どもの放課後の対応をお願いしたい。
- ・ 金銭的なものは必要。
- ・ 引越し費用の支援。
- ・ メリットは実際に見ることができたが、デメリットの面を知りたい。
- ・ 精神的サポートを積極的にしていただけるとありがたい。
- ・ ひとり親支援を明確に。(他県は色々あった)
- ・ 一番は住む場所があること。

4. 就職の内定状況等 (9月1日現在)

- ①村内福祉施設で採用内定。(介護福祉士・ヘルパー2級の資格・経験あり)
- ②役場で保育士の採用について両者協議中。(保育士の資格・経験あり)
- ③村内工場 2名採用しても良い。
- ④村外福祉施設 1名採用しても良い。

5. 青木村からの提案

- ・ お試し移住——→親・子供・企業・行政参画のお試し移住 (短期間)
- ・ 企業と行政が東京へ出向き、移住希望者を面接して、合意のできそうな人のみツアーに参加していただく。
- ・ 新たに発生する村への(財政的)行政需要の検証。
- ・ 仕事の資格・経験と具体的な職種で働く意欲のある人を優先する。

6. 青木村の結論

今後もこの企画を積極的に取り入れて行きたい。



長野県では、信州・青木村への移住を考えるひとり親家庭を支援します。



信州・青木村で子育てしませんか



青木村は長野県の東部、美しい山々に囲まれた農山村です。



- 仕事(例)**
- ・介護施設／医療施設
 - ・一般製造業(事務職・営業職他)
 - ・介護福祉士養成校入学(制度活用)
- 住居**
- ・村営住宅入居可(条件有)
- 子育て**
- ・保育園(3歳以上なら即入園可)
 - ・小学校(1学年1～2クラス)
 - ・児童センター無料(午後6時まで利用可)
 - ・福祉医療費補助制度(高校生まで)

*** 詳しくは、まず説明会へ ***

移住・定住セミナー(首都圏説明・相談会)

開催日：平成 28 年 7 月 23 日(土) 10 時～15 時
 場 所：銀座 NAGANO 4 階
 (東京都中央区銀座 5 丁目 6-5 NOCOビル 1・2・4F)
 参加費：無料(時間予約も受け付けます。)

[地図裏面](#)



1泊2日
夏休みに親子で
参加してください

*** そして現地も見てください ***

移住・定住お試しツアー(現地見学会)

就職先企業との最終面接も行います。

開催日：平成 28 年 8 月 26 日(金)～27 日(土)
 詳細については、後日ホームページに掲載します。
 (<http://www.pref.nagano.lg.jp/kodomo-katei/hitorioya/ijusienjoho.html>)



セミナーお試しツアー
ホームページへ



お申込み・お問合せ

長野県県民文化部こども・家庭課
 電話番号：026-235-7147(直通)
 ファックス：026-235-7390
 E-mail：hitorioya@pref.nagano.lg.jp



東京から約2時間
青木村は“便利な田舎”です

*** 青木村はこんなところ ***

人口 4,553人 (平成 28年 4月 1日現在)
北陸新幹線上田駅から、路線バスで 30分 (約 12Km・片道 300円)
気候は、晴れの日が多く積雪量も少ない



(株)宝島社「田舎暮らしの本」2016年2月号掲載
住みたい田舎ベストランキング
日本一住みたい村ランキング“第1位”

*** 移住者の声 ***

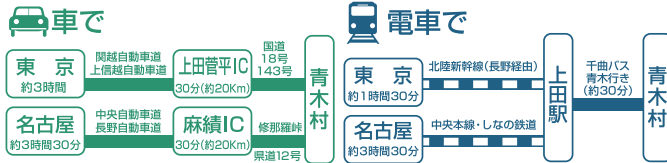
数年前、田沢温泉を訪れた際、お風呂で一緒になった方に、「子育てするなら青木はいいわよ」と言われ、その言葉が心に残り、青木村に惹かれるきっかけとなりました。そして、自分の転職を機に、東京から親子二人で移住しました。

豊かな自然、あおきっ子教育、村の人々と接し、青木村の良さを実感しています。子どもを通じて、お母さん方や学校や児童センターの先生方とも話す機会が増え、役場の方も近所の方も、親切に声を掛けてくださるので、生活面の不安はありません。

子どもがのびのびと成長している姿を見て、青木村へ来て良かったと思う日々を送っています。

(平成 28年 3月移住・30代女性)

*** 青木村アクセス ***



バスで…上田～青木間の路線バス情報

青木方面	平日	7時～21時の間 / 1時間に約1本の運行
	土日祝	8時～19時の間 / 1時間に約1本の運行
上田方面	平日	6時～19時の間 / 1時間に約1本の運行
	土日祝	7時～19時の間 / 1時間に約1本の運行

*** 銀座NAGANOアクセス ***

東京都中央区銀座5丁目6-5
NOCOビル1・2・4F
東京メトロ銀座駅A1・B5出口から徒歩1分
JR有楽町駅から徒歩7分



銀座NAGANO
MAP

青木村に移住したら、こんな暮らしが待っている!!

- 移住・定住セミナー（首都圏説明・相談会）
平成 28 年 7 月 23 日（土）10 時～15 時
- 移住・定住お試しツアー（現地見学会）
平成 28 年 8 月 26 日（金）～27 日（土）



青木保育園

3 歳以上なら即入園可



青木中学校



桜の頃の保育園



村営住宅

1 階はキッチンと和室(8 帖)
2 階は和室(6 帖) 2 間
(入居には条件有り)



青木小学校

1 学年 1～2 クラス



青木村児童センター

無料で利用できます
(18 歳まで)

生活費の比較

*私の収入・支出を記入してみましょう

【収入】	青木村在住	私の場合
給与	166,000円	円
児童手当	10,000円	10,000円
児童扶養手当	29,160円	円
児童育成手当(東京都の場合)	0円	13,500円
合計	205,160円	円

*青木村在住モデルケース・・・母(30代)、子(小学6年)

【支出】	青木村在住	私の場合
家賃(村営住宅)	25,000円	円
電気料	3,500円	円
ガス代	6,000円	円
水道代	6,000円	円
食費	30,000円	円
軽自動車(ローン・保険)	20,000円	円
こども医療費	0円	円
社会保険料	24,000円	円
合計	114,500円	円

青木村の暮らし



浦野駅の桜



双体道祖神の春



里山の節句

春



夏祭り



そば畑



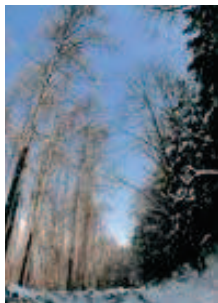
花火大会

夏



リフレッシュパークあおき

冬



冬の青木村



冬の夫神岳

秋



そば打ち体験



家族で稲刈



りんごと子檀嶺岳

青木村には、「田舎暮らし体験住宅」があります。

「日本一住みたい村(田舎暮らしの本 2016年2月号: 株式会社 榊島社出版)で田舎暮らしを体験してみませんか」

詳細は、青木村役場 建設産業課(電話: 0268-49-0111)へお問合せください。

(<http://www.vill.aoki.nagano.jp/zigyousuisin/inakagurasitaikenjuutaku.html>)